



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

メール koichiyasui@yahoo.co.jp

日に日に新たに

うららかな春の日和となりました。金光教本部におきましては、天地金乃神大祭が三度にわたり、ご奉仕になります。

私どもは日々に、天地のお恵み、親先祖のご遺徳、地域社会の恩恵、わが心身のお働きを頂いて、生活させて頂き、命のおかげを蒙っています。四代金光様は、

なにひとつ世話にならねばなしえざる

われぞと思ふせわになりつつ

と詠まれています。省みれば世話になりながらも、当然のように思うばかりか、もっともつと不満に思い、お礼の心を見失い、難儀をしている私たちではないかと思ひます。

教祖様の御教えに「座敷、板の間にちりが積もるように、人間は我欲のためにわが心にちりが積もる。わが心わが身が汚れないように、心と体の掃除をするつもりで、今月今日で信心をせよ」(『天地は語る』205)とあります。知らず知らずのうちに、「我欲のためにわが心にちりが積もる」ことが多々あるのではないかと反省させられます。

今年になって心と体の掃除をするつもりで、家業の業の一つとして、教会周辺の掃除に日々努めるようになりました。外に出てまず合掌し、掃除を始めます。高齢のためか足や腰がよく痛みますが、体を動かし掃除を続けることが適度な運動となり、痛みは和らぎ、何よりも心が清々しくなります。落ち葉やゴミ拾いはキリがなく、雑草も毎日伸びてきます。20～30分ほどですから、掃除の徹底は一気には無理ですが、毎日続けることで徐々にきれいなところが広がっていきます。

「おかげは和賀心にあり、今月今日で頼め」



と教えられているように、和らぎよろこぶ心になれるように、また、ささやかながらも掃除を通して世のお役に立つことを願いつつ、続けています。

昨年8月29日の前(五代)教主金光様の本葬で、現教主金光様は次のように喪主の挨拶をされています。

「四代金光様が『お礼を土台に』とおっしゃった意味が少しずつ分かってきた気がするんですね。寂しいとか悲しいの前に、どう考えてみてもお礼が足らんと。お礼を申さずにはいられない、つまりこのお道は何よりもお礼しか勝たん(お礼に勝るものはない)のだと、思わされています」

私どもは現教主金光様のお言葉をしっかりと受け止め、心と体の掃除をするつもりで日に日に新たに信心の稽古に努め、身代(財)と人間(信用)と達者(健康)の上におかげを受け、世のお役に立たせて頂きたいと願ひいたします。(教会長)

令和七年 教会の願い

金光様、日々有難うございます

和らぎよろこぶ心を土台に

辛抱強く信心の稽古に努め

身代、人間、達者の上におかげを受け

世のお役に立たせて下さい

墓前祭

春季霊祭の前日、3月19日(水)の午前10時より、寝屋川市石津にある教会奥城にて、墓前祭をお仕えしました。

春季霊祭並びに勧学祭を奉仕 祭典後には、茶話会を開催

3月20日(木・祝)午後2時より春季霊祭並びに勧学祭が執り行われました。穏やかな日とに恵まれ、すべてにお世話になり、今日を迎えていることに感謝し、親や先祖の御霊のお徳をたたえ、霊祭が美しく奉仕されました。

勧学祭では、家族や学校、また周囲の方々の世話のおかげで無事に進級、進学できたことを喜びあい、この上とも心も体も健康で、友達とも仲良く、勉学や運動に励ませていただけるようにと、お願いをさせて頂きました。祭典の後、アニメ「金光さま〜とりつぎ物語」を鑑賞し、続いて会議室で茶話会がにぎやかに開催されました。



当教会の天地金乃神大祭お知らせ

水や土、光や空気、みんな天地のお恵みです。そのお恵みがなければ、一時も生きていけません。天地のお恵みに感謝し、お礼の真心を捧げる大祭を下記の通りお仕えさせていただきます。ご家族おそろいで参拝され、安心のおかげを蒙られますようご案内申し上げます。

記

4月29日(火・祝)
午前11時より大祭奉行

祭典後の宣教

講題「一生が修行中」

講師 宮下 寿美 師(平野教会)

※準備の御用奉仕は、前日は午前9時より11時半まで。当日は午前10時より始めます。皆様、よろしくお願い申し上げます。

昨日を忘れ、今日を喜び、 明日を楽しむ

安井 ゆかり

3月20日に春季御霊祭に併せて、勸学祭が仕えられました。孫たちも参拝し、神様に今までのお礼と、これからのお願いをさせてもらいました。隣に住んでいる娘の長男、H君も遅れて参拝できてありがたいことでした。彼は保育園のころから落ち着きがなく、世間でいうADHD（注意欠如・多動症）の傾向が強く保母さんや母親の世話がたえず必要な子でした。小学校から中学校へと成長するにつれ、だんだんにその傾向は弱まってきました。ただ、朝起きは苦手で、朝から何度も朝食を持って行ったりして起こしますが、ほとんど毎日、遅刻でした。

中学3年の入試の時期に入り、塾の特訓を受けたりして何とか勉強するようになり、がんばったおかげで、自分の希望する高校に無事合格させていただき、ありがたかったです。

先日テレビで、小児ガン病棟で日々病氣と闘う子どもたちの様子が放映されていました。その親御さんへのインタビューで「もっと丈夫な体に産んであげたかった」「代われるものなら、代わってあげたい」と涙しておられました。

健康な子どもが、「なかなか、言うことを聞かない。朝起きしない……」と悩むことは、小児ガンで苦しむ親御さんには、夢のような悩みかもしれません。

金光教の御教えに、「昨日を忘れ、今日を喜び、明日を楽しむ」とあります。物事が思い通りにいかなくて、不安になったり、落ち込んだりします。今、平凡と思える日常の中に、幸せを見つけ、喜びを味わい、明日に向けて、楽しみに生きていくことが大事と思うのです。

生きることに素晴らしい

わが心で わが身を生かすこともあり
殺すこともあり

(理解Ⅱ 神訓2-12)

人間の感情というものはおもしろいものです。「喜べば、喜び事が 喜んで 喜びつれて 喜びに来る」というお歌があります。ちょっとしたことにでも、喜びを見い出せば、その喜びは、広がっていくものです。たったひとつの小さな喜びが、さらなる喜びの発見となり、その心が、周りの人々に、波及していくことになります。それを、神様もお喜びになります。

逆に、いつもむかむかとしている人、些細なことに腹を立ててしまう人がいます。むかついている時には、目に映るもの、耳に入ることすべてが、むかつき色を帯びてきます。むかつくことで、何をされても腹が立つ。その時流れるバックミュージックですら、嫌な思い出と化してしまう。周りの人も避けたがる。まとまる商談も、まとまらない。好機はどんどん遠ざかってゆきます。つまり、「むかつけば むかつき事が むかついて むかつきつれて むかつきに来る」ことになります。結局は、すべて自分に返ってくることを悟りましょう。

何事にでも、喜びを見い出せる人は、心も発想も豊かです。人からも慕われ、その喜びの輪を広げていく担い手にもなります。それが、意図的ではなく自然にできてくるのです。私たち、一人ひとりが、その担い手となりたいものです。そうすれば、平和で生き生きとした、喜びの世界を実現できる第一歩となるのです。

(天王寺教会発行『生きることに素晴らしい』第2集より抜粋)

4月



日	曜	教会行事予定	教会長、その他	日	曜	教会行事予定	教会長、その他
1	火	月頭祈願祭・14時		16	水		
2	水		福祉委員四役会 15時	17	木		
3	木			18	金		
4	金		布教部会 13時(大阪センター)	19	土		地域安全運動 19時30分
5	土			20	日	月例霊神祭・14時 大祭打合せ	
6	日	御本部天地金乃神大祭 (8時30分教会出発)		21	月		
7	月			22	火		だるまっこ 9時
8	火			23	水		高齢者福祉部会 10時(市民会館)
9	水			24	木	みのり・いぶき編集会議 10時40分	
10	木			25	金		
11	金			26	土		福祉委員役員会 13時
12	土	月例金光大神祭・14時		27	日		扇町教会大祭宣教 14時
13	日		地域協働協議会 9時	28	月	大祭前日御用 9時～	
14	月			29	火	天地金乃神大祭・11時 祭典後、布教部宣教 宮下寿美師(平野教会)	
15	火		梅田教会宣教 13時	30	水		

『いぶき』の原稿募集!

おかげいただいたこと、嬉しいこと、伝えたいことなど、投稿をお願いします。
す。4月20日(日)までにお結界までお届け下さい。

4月のご霊神様

中川トミエ姫乃霊(平成2年4月8日帰幽)

池端ハツエ姫乃霊(昭和62年4月16日帰幽)

宮本みどり姫乃霊(平成23年4月30日帰幽)

増満登美枝姫乃霊(昭和21年4月3日帰幽)

北見英夫彦乃霊(平成28年4月14日帰幽)

高田一徳彦乃霊(令和2年4月24日帰幽)

高田貴美大刀自乃霊(令和2年4月30日帰幽)

4月のお誕生 (敬称略)

上田寿実、田島怜真、中澤恵子、前島和代、永田陽子、西村克博、
金山穰、高田清、山西吉美、池端智子、西村美奈

みなさん、おめでとうございます

